

開 会 挨拶

海陽町長

五軒家憲次

全国道路利用者  
会議副会長



締貫会長におかれましては、用務のため、後ほどご挨拶をいただきますが、第61回定時総会の開会にあたり、私の方から一言述べさせていただきます。

意 見 発 表

北海道議会議員

柿木克弘

全国道路利用者  
会議副会長



北海道道路利用者会議の会長であり、北海道議会議長を務めている柿木克弘でございます。

は言えない中で、この道路整備を支えてきた有料道路が民営化され、そして、55年続いた道路特定財源が一般財源化されると言う、道路政策は我々の意図しない方向へと大きく転換してまいります。

しかし、地域間格差の解消や地域の活性化、住民の安全・安心の確保のための道路整備を求める声は全国に満ちあふれております。今、我が国の経済は未曾有の危機に直面しており、全国民が大変な思いをいたしております。国も地方も大変厳しい財政状況に置かれております。

この言う時にこそ、何が必要なのか。我々は今一度原点に返って、道路の必要性を強く訴え、後世にとっても必要な、根幹的インフラとしての道路の整備を強くお願いを申し上げます。

このような中、さる4月27日に国幹会議が開催され、新たに整備区間を策定する区間等が決定されました。また、200%を超える食料自給率を有し、日本の食料基地として全国へ安定供給し続ける役割を持つ北海道にあって、特に食料生産のポテンシャルが高い道東・道北方面と道央に位置する苫小牧港や新千歳空港等の物流拠点を結ぶネットワークの形成は重要な課題となっております。

〈来賓紹介〉

金子一義国土交通大臣、望月義夫衆議院国土交通委員長、田村耕太郎参議院国土交通委員長、金子恭之国土交通副大臣、西銘恒三郎国土交通大臣政務官、谷口和史国土交通大臣政務官、【国会議員・本人】赤池誠章、稲葉大和、江渡聡徳、奥野信亮、小里泰弘、北村茂男、木村太郎、佐田玄一郎、高木毅、武部勤、中谷元、長島忠美、野田毅、原田憲治、平口洋、

二田孝治、三ツ林隆志、吉田六左門、【参議院議員】大江康弘、小池正勝、田名部匡省、伊達忠一、藤井孝男、松村龍二、矢野哲朗、吉田博美、【国土交通省】金井道夫道路局長、加藤利男都市・地域整備局長、【高速道路株式会社等】井上啓一東日本高速道路社長、高橋文雄中日本高速道路社長、奥田栢彦西日本高速道路社長、佐々木克己首都高速道路社長、木下博夫阪神高速道路社長、

長、中村守本州四国連絡高速道路常務取締役、田崎忠行(独)日本高速道路保有・債務返済機構理事長代理、【友誼団体】藤川寛之(独)日本道路協会会長、【国会議員・代理】石井啓一、今村雅弘、衛藤征士郎、太田誠一、亀岡偉民、岸田文雄、木村義雄、古賀一成、後藤茂之、坂本哲志、笹川亮、堀崎泰久、七条明、杉田元司、竹本直一、谷公一、田端正広、羽

田孜、林田彪、福井照、古川禎久、宮沢洋一、宮下一郎、宮路和明、森山裕、盛山正仁、山本公一、山本有二、吉川貴盛、若宮健嗣、【参議院議員】市川一朗、植松恵美子、岡田直樹、北沢俊美、木村仁、佐藤信秋、長谷川大紋、羽田雄一郎、平山幸司、広田一、山本順二、脇雅史、【祝電】(参議院議員)佐藤信秋、脇雅史、(敬称略)

管理はこれまででも、適宜実施してきましたが、近年の住人ニーズの多様化や道民生活のさらなる向上のため、より一層の充実が必要であると考えています。もう一つ言いたい事は、道路特定財源の廃止の件です。北海道の道路整備が著しく遅れている中、我々地方は都市の整備のために税金を払ってきたわけではありませんが、ずっと我慢してやっと北海道の道路が整備されてくる中で、先ほど申し上げた通り、高規格幹線道路は未だ44%、高速道路の1,000円も結構な事ですが、ほとんどその恩恵にたどり着いていないのが現状です。北海道にあって、一般財源化は極めて残念なことではあります。同じ税金を納めている以上は、都市だろうが田舎だろうが、日本全国生活環境の整備は平等でなければならぬ。地域間競争というものは当然のことですが、本州と同じ土俵で相撲をやらせていただきたいということを強く申し上げておきます。

また、金子大臣からお話がありましたように、本年3月31日に国土交通省は直轄国道事業についてB/Cの点検結果について公表し、道内の3件を含む18件はB/Cが1以下となっており、これらについては速やかにコスト削減等により事業内容を見直し、再評価を実施した後、事業継続の可否を判断する予定と伺っております。聞くところによるとこれは、民主党がB/Cが1以下は見直せど国会で提案があったところで、霞ヶ関は何でも、ただ数字だけでものを決める。現地や地域の実情というのをどれくらい考えているのか、どれくらいわかっているのか。現場を見て地域の声を聞いて、判断をするのが行政の役割ではないでしょうか。公共事業の必要性を評価することは非常に重要なことと考えています。道路整備による効果は裾野が広く、また多岐にわたることから従来の3倍益のみならず、救急医療や安心・安心の確保等にもたらされる様々な効果を考慮し、総合的な評価指標となるよう要望してまいりたいと考えています。

道路ポケットブック2008年版【A6判】 道路統計年報2008年版【A4判】 道路行政平成20年度版【A5判】

道路行政全般をわかりやすくまとめたハンディタイプ 1部700円(本体667円) ※送料実費

我が国唯一の道路に関する統計資料 ●道路施設現況データ CD-ROM版付 1部3,400円(本体3,239円) ※送料実費

道路行政全般にわたる詳細な解説書 1部3,200円(本体3,048円) ※送料実費

発売中 / 発売中 / 発売中